

令和7年度 感染症危機管理リーダーシップ研修 研修スケジュール案（長期）

厚生労働省委託事業 感染症危機管理リーダーシップ人材育成事業

研修目的

本研修は、公衆衛生行政、医療提供体制、感染症疫学や臨床等に関する専門的な知見や経験を有する既存の多様な職種の感染症専門人材に対し、地域における将来の感染症危機への対応においてリーダーシップを発揮できるよう、感染症危機管理に必要な多様かつ分野横断的な知識やスキルの修得や維持・向上を図ることを目的とします。

研修内容

1年間、eラーニング、対面研修、研修機関における実践研修（OJT）、フィードバック会、外部講義、机上演習を通して、地域の感染症危機管理においてリーダーシップを発揮する人材に求められる能力（コンピテンシー）の獲得を目指します。

eラーニング (2週間程度)

- 地域の感染症危機においてリーダーシップを発揮する人材に必要な知識を学び、コンピテンシーの基礎を築く。

対面研修 (3日程度)

- eラーニングで学習した内容を実践することで、知識の深い理解・定着を促す。

実践研修（OJT） (約12カ月)

- 感染症危機管理に関わる各関連機関の役割や業務を知り、感染症危機時における分野横断的な調整能力を身につける。

【研修機関】

- ・厚生労働省（検疫所含む）
- ・内閣感染症危機管理統括庁
- ・国立感染症研究所
- ・国立国際医療研究センター
- ・所属自治体の県庁、保健所、地方衛生研究所（所属経験がない部署を優先とする）

フィードバック会 外部講義 or 机上演習 (月1回)

- AM：フィードバック会
各OJT先からの評価表を研修生に提供し、自己の目標に基づき、内省を図る。
- PM：外部講義または机上演習（月ごとにどちらかを実施）
（外部講義）外部講師による感染症危機の事例やリーダーシップに関する講義とグループディスカッション。
（机上演習）感染症危機時を想定したシナリオを使用し、地域における意思決定や判断などに関する演習。

※研修内容については諸般の事情により、都度内容変更が生じる可能性があります。

※国際医療研究センター及び国立感染症研究所は、令和7年4月1日より「国立健康危機管理研究機構」に名称変更となります。

令和7年度 感染症危機管理リーダーシップ研修 研修スケジュール案（長期）

厚生労働省委託事業 感染症危機管理リーダーシップ人材育成事業

研修内容	研修場所	R7 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8 1月	2月	3月
eラーニング ※受講決定者にお知らせします	各自	受講決定後に順次											
開会式	国立国際医療研究センター	4月上旬											
対面研修	国立国際医療研究センター	連続3日間											
OJT	国立感染症研究所	3カ月											
	国立国際医療研究センター （国際感染症センター）				1カ月								
	国立国際医療研究センター （臨床研究センター）					1カ月							
	所属自治体 ①保健福祉、保健医療系部局 ②保健所 ③地方衛生研究所						2カ月						
	厚生労働省（検疫所含む） 内閣感染症危機管理統括庁								5カ月程度				
フィードバック会、 外部講義 or 机上演習	国立国際医療研究センター	毎月1回を目安に開催予定											
閉会式	国立国際医療研究センター												3月下旬

※上記スケジュール（案）の他、他の機関等が提供している感染症危機管理に関連する研修との連携を予定しております。
 ※国際医療研究センター及び国立感染症研究所は、令和7年4月1日より「国立健康危機管理研究機構」に名称変更となります。